



協働のまちづくり大賞

賞金10万円と表彰状・記念品

協働のまちづくり賞

賞金5万円と表彰状・記念品

- ・入賞取組は令和6年度に5分程度の動画を作成し、DVDを贈呈します。
- ・「おかやまNPO・ボランティアサイト つながる協働ひろば」に掲載します。※変更する場合があります。

これまでのテーマと大賞を受賞した取組

<p>平成28年度 第1回 テーマ "笑顔と場づくり"</p> <p>「病気の子どもたちが安心できる居場所づくり」 代表団体 認定NPO法人ポケットサポート</p>	<p>平成29年度 テーマ 第2回 "楽しんで年を重ねられる社会のために"</p> <p>「会陽の里安全パトロール隊」 代表団体 養護老人ホーム岡山市会陽の里</p>
<p>平成30年度 第3回 テーマ "やりがいと豊かな暮らし"</p> <p>「西日本豪雨災害支援ボランティア『自由あそびのひろば』」 代表団体 助け合うお母さんの会</p>	<p>令和元年度 テーマ 第4回 "すべての人に健康と優しさを"</p> <p>「なかまちーず」 代表団体 なかまちーず</p>
<p>令和2年度 第5回 テーマ "地域と食と未来"</p> <p>「『産地牟佐』にこだわった地域の活性化」 代表団体 牟佐町内会</p>	<p>令和3年度 テーマ 第6回 "「ごみ」を減らし、「資源」で生かす"</p> <p>「地域循環環境保全型事業『瀬戸内かきからアグリ』」 代表団体 瀬戸内かきからアグリ推進協議会</p>
<p>令和4年度 テーマ 第7回 "伝統・文化で育む、コミュニティと郷土愛～コロナ禍でも取り組みを止めない～"</p> <p>「引き継げ!繋がる!獅子舞、棒遣い等郷土芸能伝承保存活動」 代表団体 建部町伝統芸能伝承保存会</p>	



応募方法

応募締切
令和5年
7月31日(月)
必着

以下の書類・資料を送付(電子メール可)または持参してください。

- 応募用紙
- 様式1 協働による社会課題解決の取組の内容
- 様式2 取組実施団体概要書
- 取組イメージの画像データ(1枚)
- 取組内容や成果、協働の役割などをA4で1枚にまとめた電子データ(データをもとに、事務局でパネルを作成します。作成が難しい場合は、ご相談ください。)
- その他取組の説明資料(A4で2枚以内で添付できます)

※提出書類は様式2を除き、原則ホームページ等で公開します。提出書類は返却しません。
※応募用紙は「おかやまNPO・ボランティアサイトつながる協働ひろば」でダウンロードできます。

詳しくは「つながる協働ひろば」をご覧ください。



応募先 問合せ先

岡山市市民協働企画総務課市民活動支援室
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号
電話 ▶ 086-803-1061 E-mail ▶ kyoudou@city.okayama.lg.jp
※電子メールで送付の場合、3日以内に返信がない場合は、念のため電話でご確認ください。

第8回 おかやま協働のまちづくり賞

2023



募集テーマ

災害に強いまちづくり

～誰も取り残されないやさしい地域を目指して～



応募締切 令和5年
7月31日(月) 必着



主催：岡山市



第8回

おかやま協働の

まちづくり賞

2023

募集要項

おかやま協働のまちづくり賞

とは？

「岡山市協働のまちづくり条例」に基づき、豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現のため、住民自治組織・NPO・企業・学校・行政など、多様な主体の協働による、優れた地域の社会課題解決の取組を表彰し応援します。



第7回の表彰式の様子

募集テーマ

災害に強いまちづくり

～誰も取り残されないやさしい地域を目指して～

全国各地で毎年のように発生し激化する気象災害、今後発生する確率が高いとされている南海トラフ地震など、近年、自然災害の発生リスクは増しており、「万が一に備える」とともに「常日頃から備えておく」ことが必要不可欠です。平成30年7月豪雨災害から5年、災害への備えを今一度、考える時ではないでしょうか。

日頃から各家庭でできる備えや、ご近所付き合いなど顔の見える関係づくりはもちろんのこと、外国人や障がい者、お年寄り、子どもなど、災害時に配慮が必要な方が平時から周囲と関係をつくることで、地域に住むすべての人が安心して暮らせる災害に強い地域の形成につながります。

そのためには、町内会等の住民自治組織や、地域にある学校、企業、NPOなど様々な主体が連携し、それぞれの強みをいかすことが重要です。

- みなさんの地域で、
- ・外国人と共に学ぶ防災教室の開催
- ・避難所のバリアフリー化
- ・災害時の要配慮者を想定した訓練
- ・災害時でも自活できるエネルギー供給の体制整備
- ・障がい者を対象とした情報発信ツールの開発
- ・地域の企業や学校などとの、連携による避難訓練
- ・子ども自らが考える防災教室の開催



など、誰一人取り残されない、配慮が必要な人にこそやさしい取組はありませんか？
多様な主体の協働による「災害に強いまちづくり」の取組を、ぜひご応募ください。



SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された2030年を期限とする世界共通の17の目標です。誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組みます。岡山市ではSDGsの実現に向けた取組を全庁を挙げて推進しており、持続可能な地域社会の実現をめざすための協働の取組もSDGsの理念に沿っていると考え、テーマに取り入れています。

審査基準

インターネット投票の結果を審査に反映します。

- 1 協働力**
取組の目的と協働する団体の役割分担が明確で、各団体の特性や能力が発揮されることにより相乗効果があらわれているか。
- 2 成果・効果**
解決しようとしている社会課題が明確であり、取組によりどれだけ課題の解決が進んだか、または、今後の成果が期待できるか。
- 3 継続性**
一過性のものだけでなく、将来に向けた継続性があるか。
- 4 独創性**
先駆的な取組であるか、また創意工夫がみられ、特色ある取組か。
- 5 テーマとの整合性**
取組の内容と成果がテーマと合致しているか。

応募要件

～多様な主体の協働の取組～

住民自治組織、NPO法人その他の市民活動団体、事業者、学校・大学等、地域の社会課題解決に関する取組を行う全ての団体が応募できますが、応募する取組は、次の要件を満たすことが必要です。

- ①取組の目的や内容が、本年度のテーマに沿ったものであること。
- ②岡山市の社会課題解決のための取組であること。
※宗教、政治又は営利を主たる目的とする活動及び、暴力団又は暴力団員の統制の下にある活動は対象としません。
- ③2団体以上の多様な主体の協働で取り組まれていること。
※「団体」とは概ね10人以上で構成されているものをいいます。「団体」には行政機関も含まれます。協働団体のうち1者は岡山市内に所在する団体であることが必要です。
- ④原則として岡山市内で実施される取組であること。
※ただし、実施場所が市外であっても、岡山市の社会課題解決につながる事が明らかな場合は対象となります。

スケジュール

6月1日(木)～7月31日(月)	応募期間
8月中旬～9月	インターネット投票 パネル展示 / 「協働のまちづくり展」等で取組紹介のパネルを展示します。
10月中旬	審査員による審査
11月	表彰式、大賞取組の報告 / 市民協働フォーラムにて、表彰と大賞取組の報告を予定しています。